

平成24年度 第4回医学教育FD/ICT活用研究委員会議事概要

日 時：平成24年8月28日（火）13：30－15：30

場 所：公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

出席者：内山委員長、吉岡委員、渡辺委員（関西医大、ネット参加）高松委員、中木委員
（事務局 井端事務局長、森下主幹、平田職員）

1. 検討事項

(1) 資料0番の説明があり、第2章1節は学士力についてまとめたもので、分野ごとのコア・カリキュラムのある医歯薬の委員会では第2章1節は作成しないことを確認した。

(2) 「医学教育における教育改善もモデル提案について」の内容を検討し、最終案を作成した。その過程で以下の点について主に検討した。

<議論1>

前半部分の記述がコアカリから逸脱していないかという指摘があった。この点に関して、コアカリの考え方はこれだけやればよいということであるが、これからの医学教育にそぐわない概念となっており、コアカリ以上の内容が多少含まれていても良いと思われる。生涯学習という文言はコアカリの記載をさらに充実させたと解釈でき、必ずしも逸脱ではない、という結論に落ち着いた。

<議論2>

3つのモデルが具体的に紹介されているが、3つのモデルを提案する理由を明確にするため、まずコアカリの内容を簡単に述べた上で、モデルの紹介に入ったほうが良いのではないかという指摘があった。

この点に関して、コアカリの前文の部分を取り込むこととした。具体的には、「モデルコアカリキュラムでは医師として求められる基本資質として、医師としての職責、患者中心の視点、コミュニケーション能力、チーム医療、総合的診療能力、地域医療、医学研究への志向、自己研鑽を掲げさらに A 基本事項では課題探究・解決能力、批判的吟味、生涯学習の必要性を強調しているが、その教育方法は確立されていない。しかし、学生が卒業し、医師として働くときの「医師の役割」の変化に対応できる能力を育てるためには、学部教育における教育手法の改善が欠かせない。そこで、以下の教育モデルと提案することにした。」の文言を挿入した。全体の字数制限に伴い、他の部分の文言を文意は大きく変えることなく削除、変更等によって調整した。

(3) 3つのモデルについて検討し、それぞれについて、授業の仕組みの項目に概念図を挿入することとした。図は各原作者が作成して9月20日までに提出することとした。

以上